

ACADEMIC THEATER (アカデミックシアター) について

アカデミックシアター事務室 室長 岡 友美子

1. はじめに

近畿大学東大阪キャンパスでは、2014年7月に東大阪キャンパス整備計画「超近大プロジェクト」が始動し、2014年9月に文芸学部新棟、2015年10月に法学部新棟、昨年3月には国際学部新棟が完成し、2017年4月に一期工事として新たな学術拠点としての建物が完成した。

この建物は、近畿大学の建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」を礎に、人間のあらゆる知的好奇心を揺り動かす“知の実験劇場”としてオープンし、「ACADEMIC THEATER (アカデミックシアター)」という名称がつけられた。

アカデミックシアターのコンセプトは「近畿大学のシンボル」、総合大学として「文理の垣根を越えて、社会の諸問題を解決に導くための学術拠点」、学生の読書離れに対応できる「従来の大学図書館にない、まったくの新しい考えをもった図書館の創出」です。そして、劇場（シアター）として、学生、教職員が演者、演出家、観客となり多種多様な人々が交わることによる気づきを可能にする学習空間を目指している。

2. フロア構成

建築面積	7,265.78 m ²
延床面積	28,345.07 m ²
1号館	地下1階 地上11階
	延床面積 14,216.30 m ²
2号館	地上2階 延床面積 1,539.90 m ²
3号館	地下1階 地上5階
	延床面積 5,218.90 m ²
4号館	地上3階 延床面積 1,336.02 m ²
5号館	地上2階 延床面積 6,033.95 m ²

施設名称	施設機能	
1号館 (本館)	自習室(ラーニングコモンズ)	1F
	インターナショナルフィールド	2F/3F
2号館	実学ホール	1F
	オープン・キャリアフィールド	2F
3号館	自習室(24時間)	1F/2F
	講義室	3F/4F/5F
4号館	カフェ・ラウンジ	1F/2F/3F
5号館	ビブリオシアター	図書館 1F/2F
		ACT 1F/2F



アカデミックシアター



オープニングセレモニー

1号館は事務部と国際関係のエリア、2号館1階は実学ホール、2階はキャリアセンターが中心に活動するオープン・キャリアフィールド、3号館には24時間自習室と講義室のあるナレッジフィールド、4号館はカフェとラウンジのあるアメニティフィールド、そして5号館はビブリオシアターとして約7万冊の図書とACTという学びの空間という5つの建物が融合した複合施設となっている。

2.1 インターナショナルフィールド

1号館は、11階建てで4階以上は事務関係の部署がはいっている。2階、3階はインターナショナルフィールドで留学、国際交流、外国語教育などを一体的に行うインターナショナルセンターを配置し、留学生、外国人講師、在学生など多様な人々が利用する異文化・多言語の出会いの場を創出し、昨年開設した国際学部とこの施設を中心として、全学的なグローバル人材の育成に取り組んでいる。インターナショナルスタディーズエリアと呼んでいる2階は5号館とつながっており、語学学習のための「多読本」やTOEFL、TOEICなどの語学試験対策資料を約14,000冊、映画などのDVD約2,000点配架をしている。以前は中央図書館と語学センターの2カ所に設置されていた資料を1つにまとめることにより学生の利便性を向上させるとともに3階にある語学教育センター（旧語学センター）と連携をとることにより学生の語学力アップをはかることができると考えている。1階は、ラーニン

グモモンズという名称で、可動式のテーブルとファミレス形式の席を置いている。学生が自由に机を移動することで個人学習、グループ学習での対応が可能になっている。また、壁にプロジェクターの映像を投影することでオープンセミナーでの利用も可となっている。

2.2 オープン・キャリアフィールド

2号館は、2階建てとなっていて、1階は学生の成果発表、研究会などに活用できる実学ホールを設置しており、学内外に実学研究成果を発信する情報発信型の施設になっている。可動式のノート付き椅子、簡易舞台、プロジェクターを備え付けて、3面ガラス張り、フルオープンになることにより、外向きに情報を発信することができる。

2階には社会とのかかわりの窓口として、就職を支援するキャリアセンター、産学連携を推進するリエゾンセンター、卒業生の窓口である校友会、自治体との連携などに取り組む社会連携推進センターの機能を一つのフロアに集約し、横串を通した有機的な連携をとることで、「オール近大ワンストップで動くことができるエリアとなっている。

例えば、卒業生が校友会を訪ねてきた時、企業の相談の話題ができればリエゾンセンター、就職採用の話題になればキャリアセンターなど直ぐに対応ができるという相互連携がしやすい状況になっており、部屋がオープンスペースになったことで学生自身も相談しやすく利用者も増えている。



1号館



2号館

2.3 ナレッジフィールド

3号館は5階建てで自習室、講義室を備えたナレッジフィールドになっており、1・2階が自習室、3・4・5階が教室となる学生の自発的な学びを支援する施設になっている。1階は約100席の女性専用室、2階は約150席の男女兼用となっている。24時間という事で防犯カメラ、ブザー、内線電話等を設置しセキュリティにも配慮している。

自習室の利用には、アカデミックシアター専用アプリをダウンロードすれば、映画館や新幹線のように座席を予約し、いつでも自習室を利用することができ、予約した学生のみが入出可能となり学生がいつでも利用できる自習環境を提供している。また、3～5階は通常は教室として利用しているが、試験期など必要に応じて自習室対応が可能となっている。



3号館

2.4 アメニティフィールド

4号館はアメニティフィールドになっており、1～2階はカフェ、3階は来客用にも利用できるラウンジになっている。リラックスするだけでなく、カフェでも学べる空間づくりがコンセプトとなっている。

1階には、サードウェーブコーヒーとして注目の、「ALL DAY COFFEE（オールデイコーヒー）」が国内大学初出店している。グランフロント大阪 うめきた広場にあり、コーヒーやカフェラテの美味しさはもちろん、ショップのオリジナルグッズも雑誌やWEBメディアに取り上げられている。講義や研究など学びの合間にさっと立ち寄れる利便性と心地よい

リラックスタイムを学生に提供している。

2階はアメリカのニュース専門放送局「CNN」がプロデュースするカフェで、店内の4つのモニターでは常時CNNのニュースが流れ、学生が日常的に世界のニュースを目にすることができる。昨年4月の国際学部開設を機に、全学的なグローバル化を推進するなかで、学生が気軽に英語に触れられる機会を提供している。また、食を通じて世界文化に触れるきっかけを提供するべく、ホットドッグやキンパなどインターナショナルワンハンドFOODの提供も実施している。



4号館

2.5 ビブリオシアター

アカデミックシアターの中核施設となる5号館は別名「BIBLIOTHEATER（ビブリオシアター）」と呼称されている。

編集工学研究所所長の松岡正剛氏をスーパーバイザーに迎えて開設した新図書館となり、中央図書館のサテライト的な役割りである。東大阪キャンパスにある150万冊のうち7万冊のみ配架している。

松岡正剛氏は「編集工学」を創始し、現在は編集工学研究所所長、イシス編集学校校長です。古今東西約600万冊の書物を収蔵する「図書街」構想や30年にわたり改変してきた知の体系「目次録」を土台にしながら、伝説の書店「松丸本舗」、無印良品「MUJI BOOKS」、などの開設に携わっており、直近では所沢市

KADOKAWAと図書館を含めた複合施設を制作中[Coo Japan Forest]です。また、ブックナビゲーション「千夜千冊」も有名です。
(<http://1000.ya.isis.ne.jp/>)。

3. ビブリオシアターの特徴

ビブリオシアターには主に二つの機能があり、一つ目が松岡正剛氏監修の「近大INDEX」によって構成される実学的、文理融合的な図書空間です。もう一つは、「社会の諸問題を解決に導くための」プロジェクト空間として、ACT（大10、小32）というガラス張りの小部屋です。図書空間については、中央図書館事務部、ACTについてはアカデミックシアター事務室が主な所管となっている。



ビブリオシアター

3.1 新しい図書空間

近大INDEXは、十進分類法を下書きにしつつ、新たな実学的・文学融合的なリベラルアーツ感覚によってタイトリング・選書された図書で、1階をNOAH33、2階をDONDENと呼んでいる。これらのテーマは松岡正剛氏のもつ目次録と近大のシラバスを融合させてつくられている。

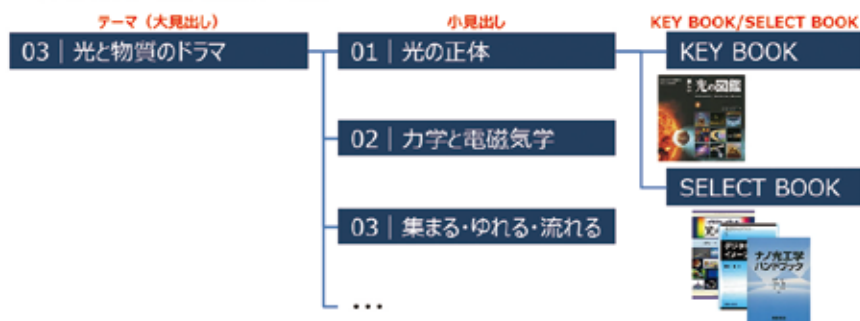
1階のNOAH33は“New Order of Academic Home”の略で、いわゆるノアの箱舟のことで、超近大の明日のために多様な世代が乗り合わせる“知の方舟”となることを目指している。33というとおりの33のテーマごとの書棚があり、全体で約3万冊の教養的な本が多く、理系、文系の本が混在して置かれている。分類構造としては大見出し、小見出しになっていて、小見出しのテーマでおすすめのKEY Bookがある。

本にはテーマにそった番号のラベルと十進分類法の請求記号をつけている。そのことにより請求記号を利用して中央図書館の本にたどり着くことにより中央図書館とビブリオシアターとの連携を深めると共に研究の幅をひろげることができると考えている。



NOAH33

■ NOAH33の分類構造（例）

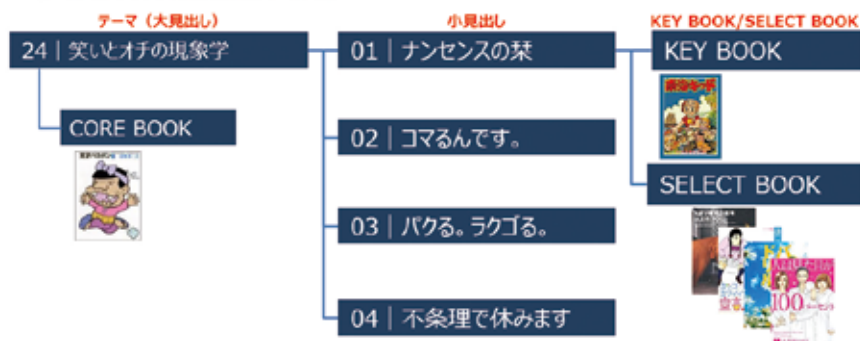


2階の DONDEN は、約 2万 2千冊の漫画とその隣に関連する約 2万冊の新書・文庫が配架されている。漫画を利用することにより、学生の関心が高いマンガから入って関連する新書・文庫さらには専門書へと、知のつながりを感じ、知の奥へ向かうための、「知のどんでん返し」が起こることを目指している。DONDEN は 32 のテーマに分かれて書棚があり、NOAH33 と同じような分類構造をもっている。



DONDEN

■ DONDENの分類構造（例）



3.2 ACT を利用したプロジェクト空間

ビブリオシアター内にある「ACT（アクト）」と呼ばれる 42 室のガラス張りの部屋は書架の間に位置している。当初は、図書とこの空間を関係づけること意識していたが、スタートとしては、可視化できるこの空間を生かすために、社会の諸問題の解決に取り組む少人数プロジェクトや、学部の専門性を越えた学生主体の統合型教育、企業とのコラボ

レーションなどを実施するための部屋としてプロジェクト募集をおこなった。

ACT は 3 つのカテゴリーで分かれており、常設（1 年間通して活動する）、短期（1 日や夏季集中的など短期で活動する）、タイムシェア（学生がアプリで予約して自由利用する）といった形態で、新たな学びの空間・出会いの場として活用する活動をしており、現時点で 30 を超えるプロジェクトが進行中です。

【ACT プロジェクト一覧】

企業、地域、大学が連携した“30”を超えるプロジェクトが進行中。

- ・東大阪モノづくり観光プロジェクト
- ・ビジネスプラン・コンテスト
- ・チョコと近大
- ・学生の潜在能力の開花と企業の価値創造
- ・マーケティング・デザイン X Lab.
- ・アドバンス・インターシップ
- ・近大テクノロジー・ラーニングスペース
- ・宇宙衛星・近大マクロ（宇宙マクロ）
- ・先進 AI プロジェクト
- ・環境まちづくりプロジェクト
- ・A/Platform
- ・建築英語トレーニング
- ・KISS LABO
- ・近大デザインラボ
- ・静電気を利用した環境改善技術の開発と実用化
- ・近大道アガビジネス推進PJ

- ・水産学科マクロ村
- ・応用生命化学科院生シンポジウム
- ・近大 OB と共に進める商品開発
- ・柿のすべて、活用プロジェクト
- ・SATOYAMA ミュージアム東大阪キャンパス
- ・バイオサイエンス専攻大学院生の最先端研究の紹介
- ・文理融合科目（「プレゼンテーション技術」「現代社会と科学」）
- ・もの・しくみづくり総合学習「発酵食品 文化・技術・歴史」
- ・近大サミット
- ・「植・食・健康」産業支援プロジェクト
- ・「世界への扉」プロジェクト
- ・中小企業海外展開支援プロジェクト
- ・キャンパファイヤー社連携プロジェクト
- ・起業家育成プログラム（Lean LaunchPad）
- ・「近大こ」プロジェクト（P-Factory）

代表的な取組については以下となります。

【先進AIプロジェクト】



①

社会問題×近畿大学

コミュニケーションロボットSotaに、ディープラーニングをはじめとする先進AIを導入することで、IoTにおけるアクチュエータとしての利活用方法を提案する。

【近大SATOYAMAミュージアム】



③

地域×学生

農学部で行われている「里山修復プロジェクト」の成果物を常設展示し、本部キャンパスの学生や一般の方々への社会啓蒙の場、本部と農学部の情報交流の場となります。

【KISS LABO】



②

企業×学生

UHA味覚糖と連携し、舌の美しさ、弾力、潤い、色、香り...さまざまな視点から「キッス」を科学し、商品開発の糸口を目指します。

【マーケティング・デザインX Lab.】



④

学部×学部

問題発見能力育成を通じてマーケット創造型人材の育成およびプログラム開発を学部横断、社会連携の活動を通じて実現する。

4. その他の特徴

アカデミックシアターでは、近大INDEXが検索でき、ACT活動やイベントをPUSH通知でリアルタイムに情報配信できるアプリを学生向けに提供している。デジタルサイネージと合わせて、館内の情報配信基盤として運営されている。

【アプリの主な機能】

1. 近大INDEC 検索
2. アクトプロジェクト（イベント）検索
3. 自習室、ACT 予約
4. PUSH 通知
5. ポイントサービス



また、アカデミックシアターのホームページではAI機能を活用したSNS分析による個々の潜在的興味に合致した本を紹介する機能も提供しており、新たな切り口での本との出会いを提供している。

「偶発的な本との出会い」の創造には、リアルな書棚だけでなくICTも活用している。公式ウェブサイト上にAIによる本のマッチングサービスを展開し、TwitterまたはFacebookのアカウントと連携することで、AIが「外向性」「誠実性」等の5つの角度から投稿内容を分析し、個々の潜在意識に最も合致する本を推薦するというサービスです。これを実現するために、ビブリオシアターに配架された約7万冊の図書の情報について同様の指標を用いて分析しており、各人の特性分布値と最も近い本を抽出している。



DONDEN 前の学生

5. さいごに

アカデミックシアター開設以来、ACT や実学ホールでプロジェクト型学習や文理の垣根を取り払った学部横断型の教育を進めている。その中で本施設が稼働したことによる教育的な効果は大きく4つあると考えている。

- ・学部を串刺しするコラボレーションフィールドとして「総合大学の力の結集」
- ・本を読む仕掛け、近大 INDEX の導入による「学生の本離れ対策」
- ・自習環境の整備による「多様な自習ニーズへの対応」
- ・ガラス張りのオープン型ホールを活用した「実学成果の情報発信」

これらの教育的効果を継続するとともに、利用状況と学生の声を把握しながら更なる機能追加として当初の目的であったアカデミックシアターの3つの機能近大 INDEX を利用した図書とアクト活動、ライブラリ空間を核として協働していかないと考えている。そうすることにより建学の精神である実学教育が生かされ、地域社会から関西、日本そして世界につながる、新しい価値を創造する人材を育成にも生かされていくと考えている。

アカデミックシアターを使いこなそう！

アカデミックシアターは、「文理の垣根を超えて社会の諸問題を解決に導くための学術拠点」をコンセプトとしており、常識を打ち破る実践の場を目指しています。

ここでは、アカデミックシアターの魅力と使い方について紹介します。

1. 5号館 BIBLIOTHEATER (ビブリオシアター)

編集工学研究所所長 松岡正剛氏の監修「近大 INDEX」によって7万冊の書籍等を収蔵しています。

5号館1階 NOAH33

実学的・文理融合的な文脈によって、約3万冊のセレクトブックを33のテーマに分類しています。

5号館2階 DONDEN

マンガを中心に4万冊の新書・文庫が32のテーマ別に構成されています。マンガから、知のつながりを感じ、知の奥へ向かう「知のどんでん返し」が起こることを目指しています。

本の貸出・返却

利用区分	貸出冊数	貸出期間
学 生	10冊以内	15日以内

※中央図書館や分室での貸出冊数との合算。

2. アカデミックシアターアプリ 機能紹介

1. 近大 INDEX 検索

ビブリオシアターに配架されている本との出会いをサポートします。

2. アクトプロジェクト (イベント) 検索

アクトで実施されるイベントの詳細 (日時・場所・タイトル) を一覧で表示し、興味のあるイベントの詳細を確認できます。

3. 教室 (ACT) 予約・自習室予約

Web 学生支援システム「UNIPA」の自習室 / ACT 予約機能を簡単に利用可能にします。

4. PUSH 通知

イベント情報や、UNIPA と連動した休補講情報の配信機能を提供します。

5. ポイントサービス

ポイントはクーポンに交換でき、4号館のカフェで利用可能です。

3. 診断コンテンツ 紹介

AI (人工知能) が SNS の投稿内容から学生一人ひとりのキャラクターを分析し、その人の潜在的興味に一番合致する本を心理学のピックファイブ理論に基づいて、近大インデックスの中から抽出します。偶発的な本との出会いを創造し、本離れが進むと言われる学生に読書のきっかけを提供します。

HPにアクセスし、ツイッターなどのアカウント登録をするとお勧め本が表示される。<https://act.kindai.ac.jp/>



4. ACT (アクト) プロジェクト

5号館 ACT (アクト) と呼ばれるガラス張りの部屋ではアクトプロジェクトが行われており、学生は各種イベントに参加することができます。

3つの特徴

1. 他領域同士のコラボレーション

文系×理系、学生×企業などの異なる分野の学問が掛け合わされています。

2. 社会課題を解決する実学

3. 劇場型

知的好奇心を揺り動かし、主体的に脚本を書き、集い、演じ、観衆の心を動かしたくなる活動を行います。

開館時間

曜 日	時 間
月 ～ 土	8:45 ~ 22:00
日曜・祝日	休 館

※時間変更や臨時休館があります。詳細は中央図書館ホームページ等でご確認ください。

